

# 岐阜アパレル・縫製産業景気動向調査

## 第1部 アパレル産業

### 1. 調査要領

- (1) 調査時期 令和元年10月  
(2) 調査依頼企業数 59社  
(3) 調査対象期間 令和元年7月～令和元年9月  
(4) 回答状況 有効回答数 54社  
有効回答率 91.5%

#### 《業種別内訳》

業種	依頼数	回答数	回答率
メンズファッション	21	20	95.2%
婦人子供服	34	30	88.2%
ニット雑貨	4	4	100%
合計	59	54	91.5%

### (5) 調査事項

- ア 売上高  
イ 在庫  
ウ 操業度  
エ 販売価格・仕入価格  
オ 利益率  
カ 資金繰り・借入難度  
キ 業況判断・四半期後の業況見通し  
ク 経営上の問題点  
(ア) 売上の減少  
(イ) 経費の増加  
(ウ) 製品安  
(エ) 求人難  
(オ) その他  
ケ 海外生産の割合

## 2. アパレル産業景気動向調査結果の概況

岐阜アパレルは、「販売価格」DI、「業況判断」DI等の項目で改善を示したが、「海外生産」DI、「資金繰り」DI等の項目で悪化を示した。

今期の調査結果の特徴は、DIの前回比較で「販売価格」DIで16.7ポイント、「業況判断」DIで14.9ポイント改善し、「海外生産」DIで17.4ポイント、「資金繰り」DIで7.4ポイント悪化したことである。

経営上の問題点としては、1位「売上の減少」、2位「製品安」の順となった。

回答企業のコメントとしては、「増税による消費の冷え込みやキャッシュレス化等、先行きに不安が多い」(メンズ)、「中国の生産コスト・リスク、国内運賃の上昇等、利益圧迫の要因が増加している」(婦人子供服)、「増税前の駆け込みが無かった」(ニット)等の意見が聞かれた。

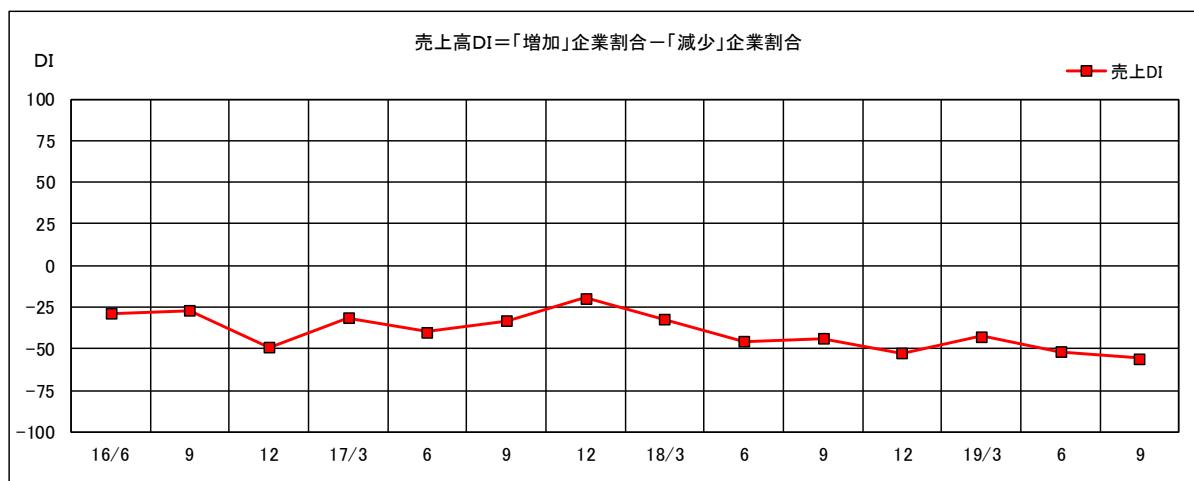
## 3. アパレル産業景気動向調査結果

### 1 売上高の動向

今期、売上高が「増加した」とする企業は、7.4%と前回と同じとなった。

一方「減少した」とする企業は、63.0%と前回の59.3%から3.7ポイントの増加となった。

DI値は、3.7ポイント悪化して▲55.6となった。

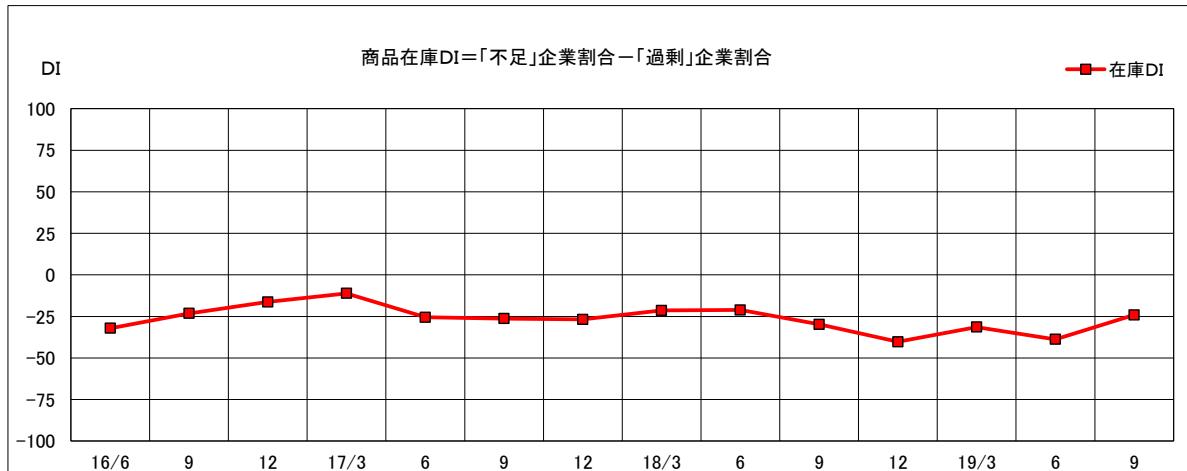


## 2 在庫の状況

今期、在庫が「不足」とする企業は、3.7%と前回の 1.9%から 1.8ポイントの増加となった。

一方「過剰」とする企業は、27.8%と前回の 40.7%から 12.9ポイントの減少となった。

DI値は、14.7ポイント改善して▲24.1となった。



## 3 操業度の動向

今期、操業度が「上昇した」とする企業は、3.7%と前回の 1.9%から 1.8ポイントの増加となった。

一方「低下した」とする企業は、35.2%と前回と同じとなった。

DI値は、1.8ポイント改善して▲31.5となった。



## 4 販売価格・仕入れ価格の推移

今期、販売価格が「上昇した」とする企業は、5.6%と前回の 0.0%から 5.6ポイントの増加となった。

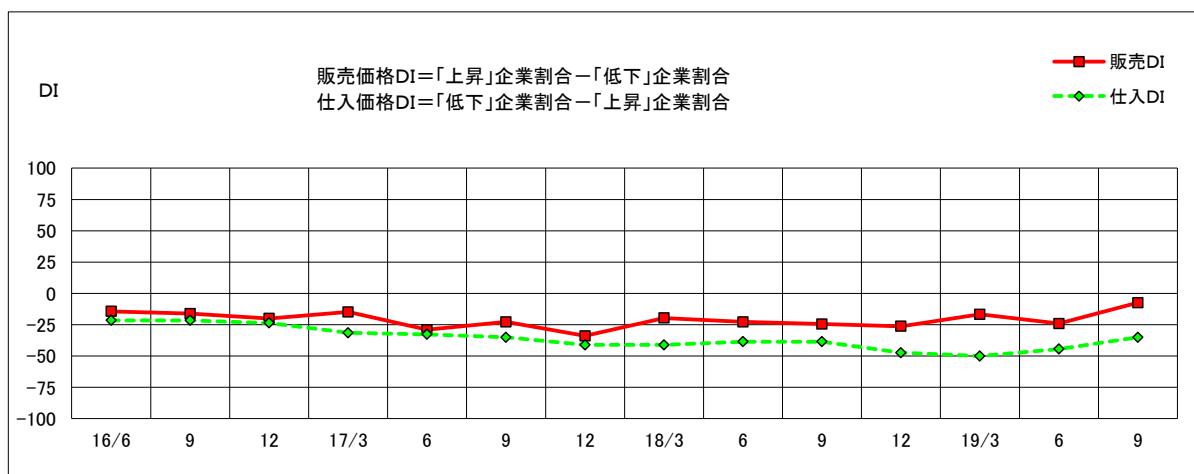
一方「低下した」とする企業は、13.0%と前回の 24.1%から 11.1ポイントの減少となった。

DI値は、16.7ポイント改善して▲7.4となった。

今期、仕入価格が「低下した」とする企業は、5.6%と前回の 0.0%から 5.6ポイントの増加となった。

一方「上昇した」とする企業は、40.7%と前回の 44.4%から 3.7ポイントの減少となった。

DI値は、9.3ポイント改善して▲35.1となった。

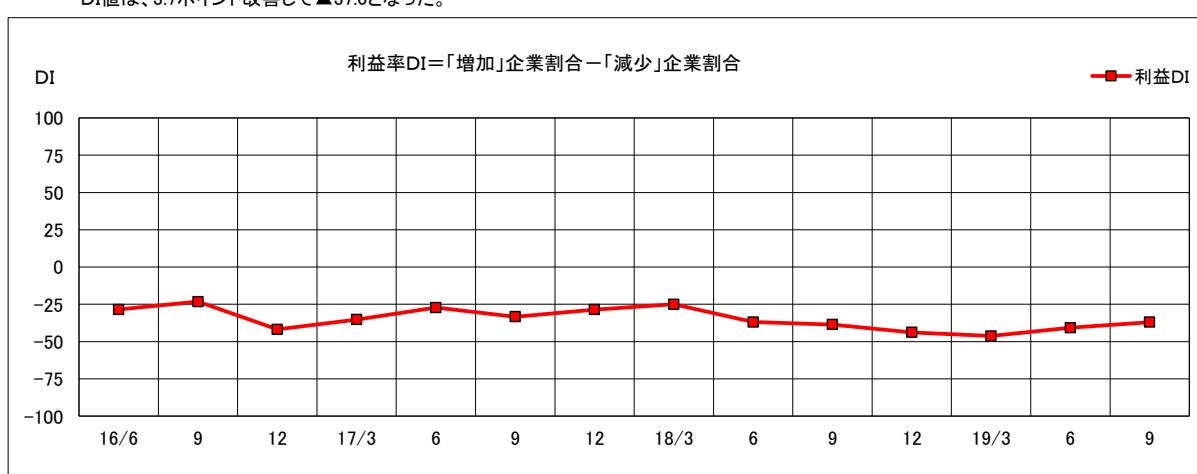


## 5 利益率の動向

今期、利益率が「增加了」とする企業は、7.4%と前回と同じとなった。

一方「减少了」とする企業は、44.4%と前回の 48.1%から 3.7ポイントの減少となった。

DI値は、3.7ポイント改善して▲37.0となった。



## 6 財務の状況

今期、資金繰りが「余裕」とする企業は、13.0%と前回の 14.8%から 1.8ポイントの減少となった。

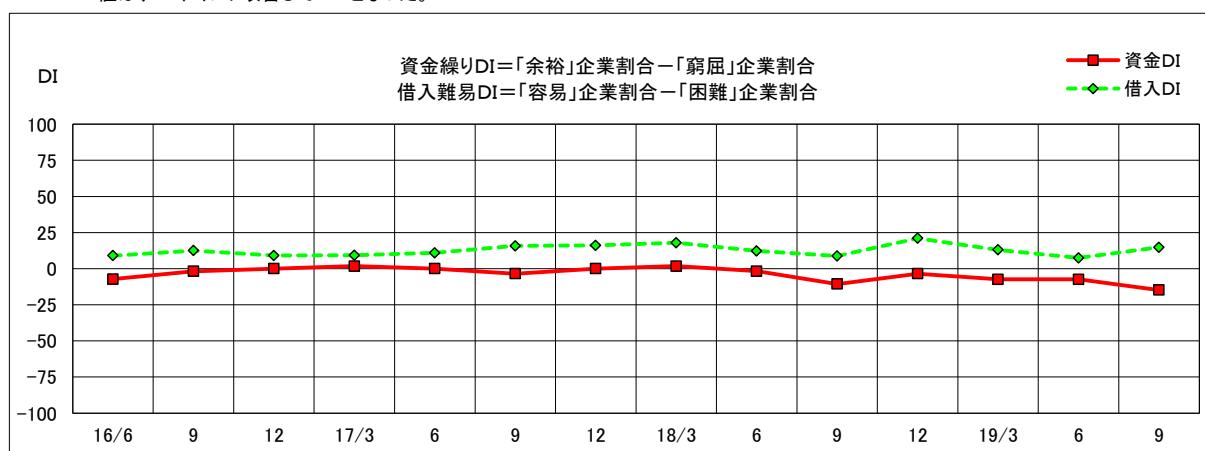
一方「窮屈」とする企業は、27.8%と前回の 22.2%から 5.6ポイントの増加となった。

DI値は、7.4ポイント悪化して▲14.8となった。

今期、借入難易が「容易」とする企業は、24.1%と前回の 18.5%から 5.6ポイントの増加となった。

一方「困難」とする企業は、9.3%と前回の 11.1%から 1.8ポイントの減少となった。

DI値は、7.4ポイント改善して14.8となった。



## 7 業況総合判断

今期、業況判断が「好転」とする企業は、3.7%と前回と同じとなった。

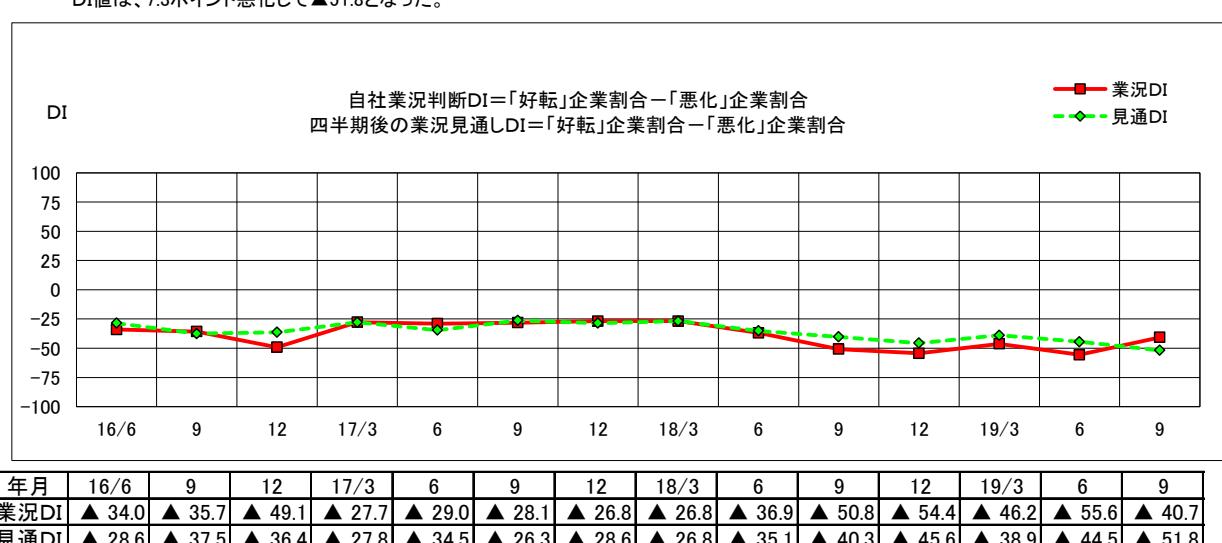
一方「悪化」とする企業は、44.4%と前回の 59.3%から 14.9ポイントの減少となった。

DI値は、14.9ポイント改善して▲40.7となった。

四半期後の業況見通しが「好転」とする企業は、5.6%と前回の 7.4%から 1.8ポイントの減少となった。

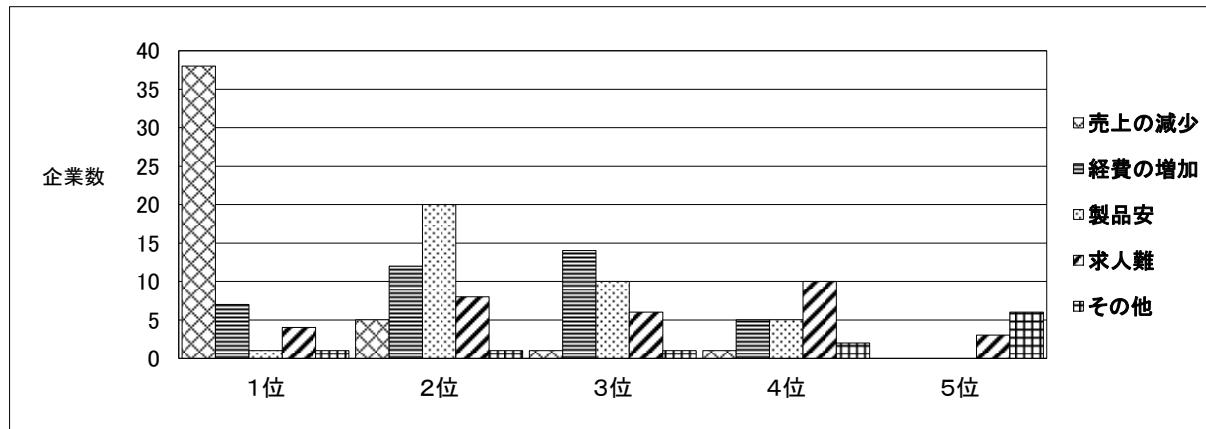
一方「悪化」とする企業は、57.4%と前回の 51.9%から 5.5ポイントの増加となった。

DI値は、7.3ポイント悪化して▲51.8となった。



## 8 経営上の問題点

経営上の問題点としては、1位「売上の減少」、2位「製品安」となっている。

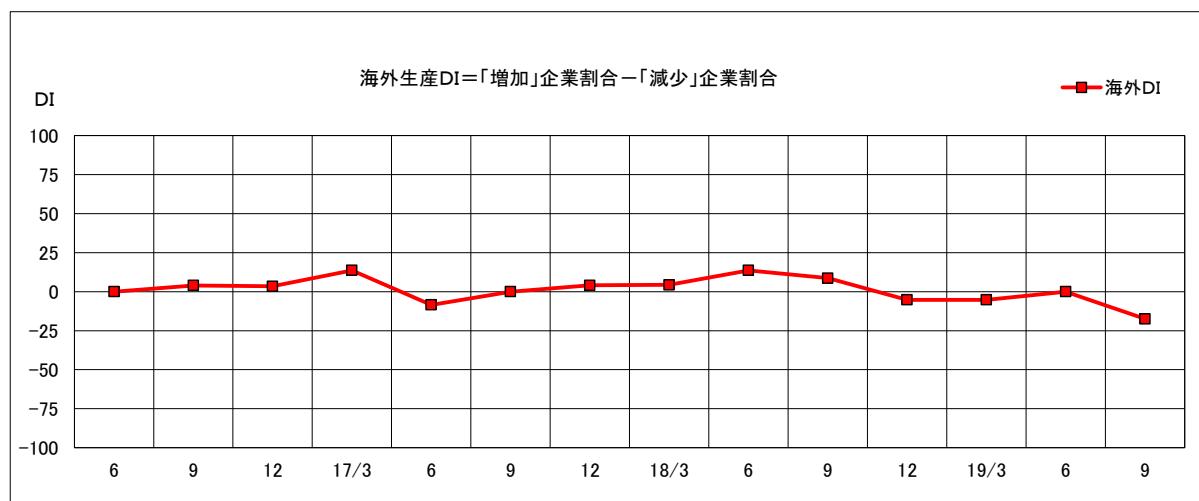


## 9 海外生産の割合

今期、海外生産が「増加した」とする企業は、0.0%と前回の 5.3%から 5.3ポイントの減少となった。

一方「減少した」とする企業は、17.4%と前回の 5.3%から 12.1ポイントの増加となった。

DI値は、17.4ポイント減少して▲17.4となった。



## 4. 業界別調査結果

(メンズファッション)

### 1 売上高の動向

今期、売上高が「増加した」とする企業は、15.0%と前回の 10.0%から 5.0ポイントの増加となった。

一方、「減少した」とする企業は、60.0%と前回と同じとなった。

DI値は、5.0ポイント改善して▲45.0となった。

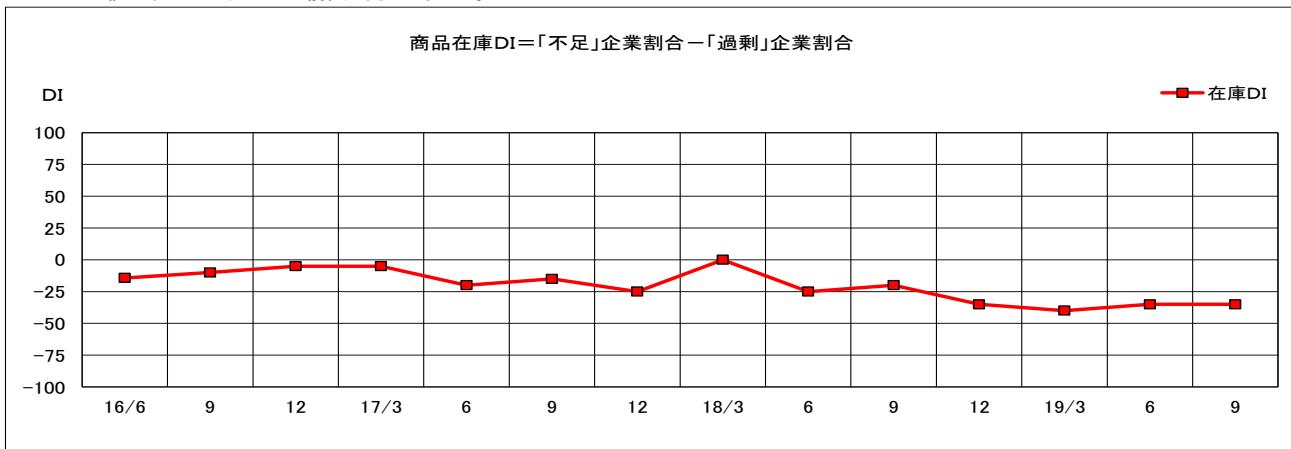


### 2 在庫の状況

今期、在庫が「不足」とする企業は、0.0%と前回と同じとなった。

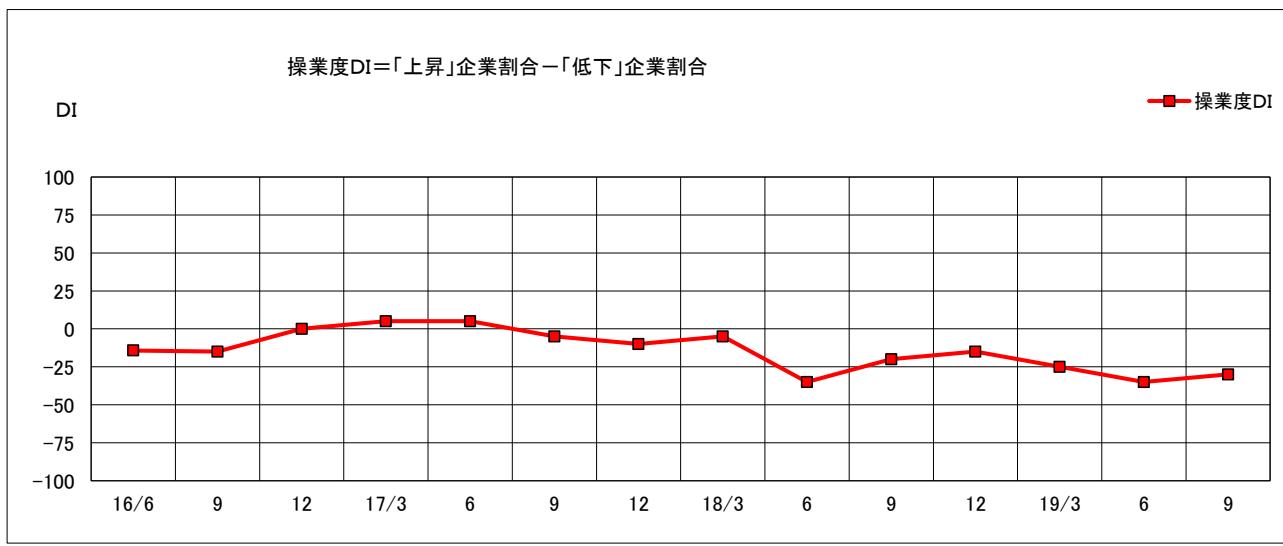
一方「過剰」とする企業は、35.0%と前回と同じとなった。

DI値は、▲35.0ポイントと前回と同じとなった。



### 3 操業度の動向

今期、操業度が「上昇した」とする企業は、10.0%と前回の 5.0%から 5.0ポイントの増加となった。  
 一方「低下した」とする企業は、40.0%と前回と同じとなった。  
 DI値は、5.0ポイント改善して▲30.0となった。



### 4 販売価格・仕入れ価格の推移

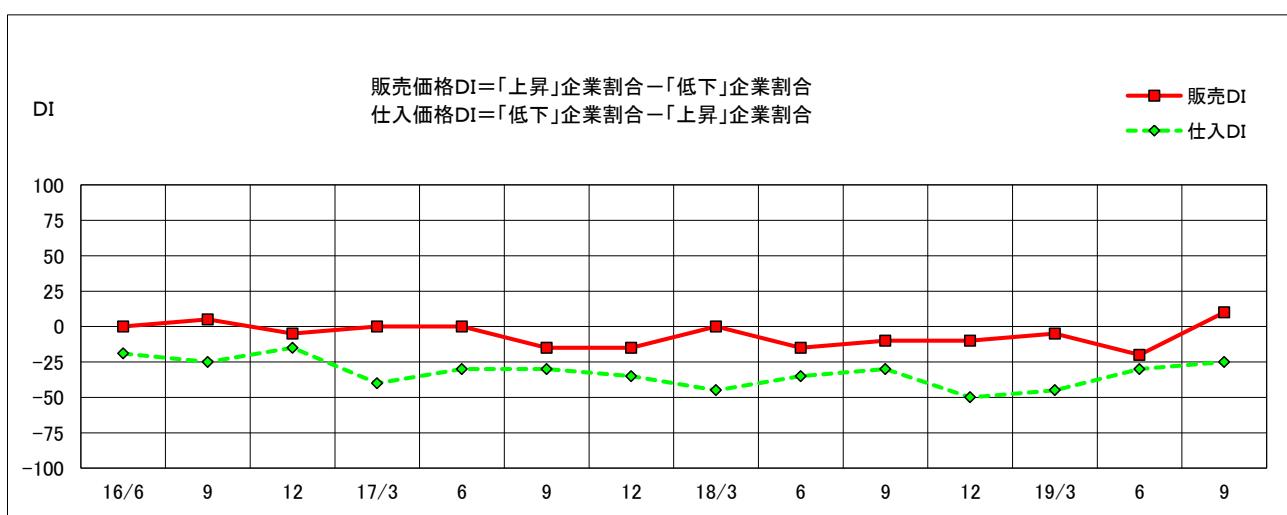
今期、販売価格が「上昇した」とする企業は、10.0%と前回の 0.0%から 10.0ポイントの増加となった。  
 一方「低下した」とする企業は、0.0%と前回の 20.0%から 20.0ポイントの減少となった。

DI値は、30.0ポイント改善して10.0となった。

今期、仕入価格が「低下した」とする企業は、5.0%と前回の 0.0%から 5.0ポイントの増加となった。

一方「上昇した」とする企業は、30.0%と前回と同じとなった。

DI値は、5.0ポイント改善して▲25.0となった。

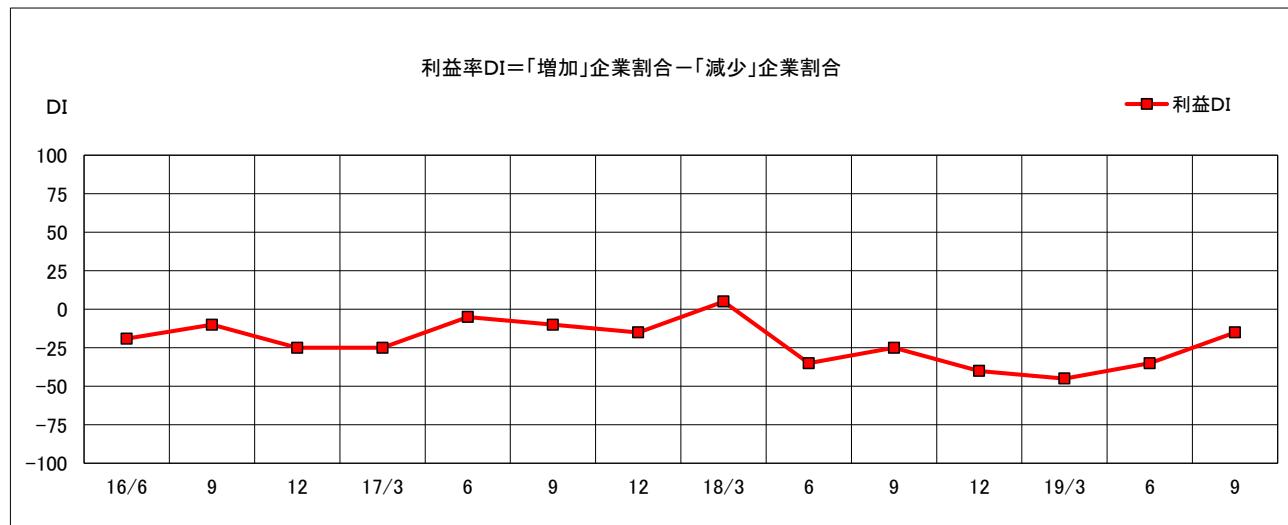


## 5 利益率の動向

今期、利益率が「増加した」とする企業は、20.0%と前回の 15.0%から 5.0ポイントの増加となった。

一方「減少した」とする企業は、35.0%と前回の 50.0%から 15.0ポイントの減少となった。

DI値は、20.0ポイント改善して▲15.0となった。



## 6 財務の状況

今期、資金繰りが「余裕」とする企業は、25.0%と前回と同じとなった。

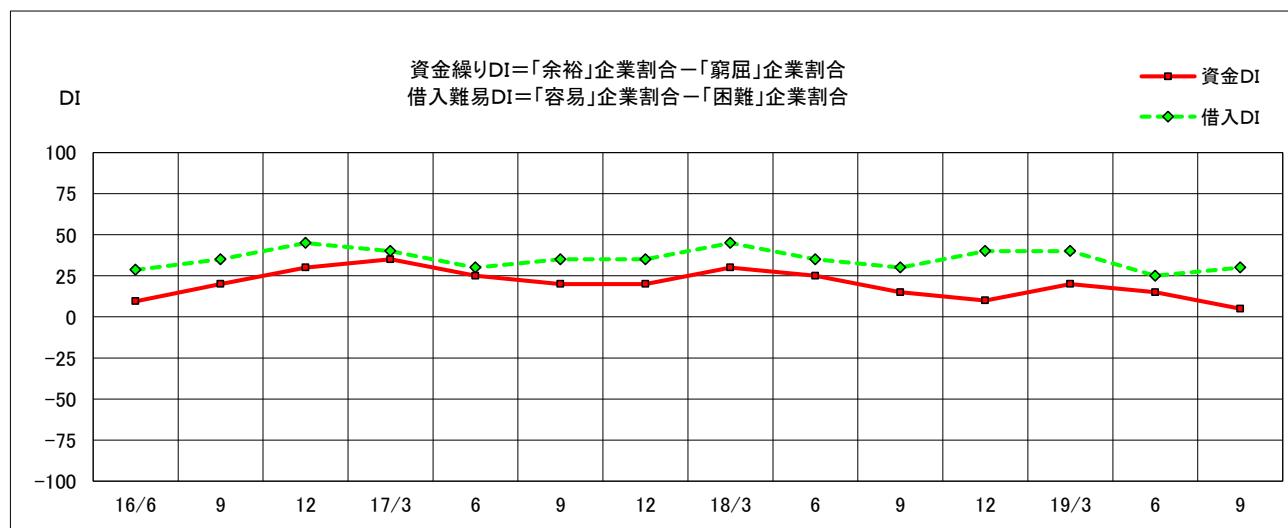
一方「窮屈」とする企業は、20.0%と前回の 10.0%から 10.0ポイントの増加となった。

DI値は、10.0ポイント悪化して5.0となった。

今期、借入難易が「容易」とする企業は、35.0%と前回の 25.0%から 10.0ポイントの増加となった。

一方「困難」とする企業は、5.0%と前回の 0.0%から 5.0ポイントの増加となった。

DI値は、5.0ポイント改善して30.0となった。



## 7 業況総合判断

今期、業況判断が「好転」とする企業は、10.0%と前回の5.0%から5.0ポイントの増加となった。

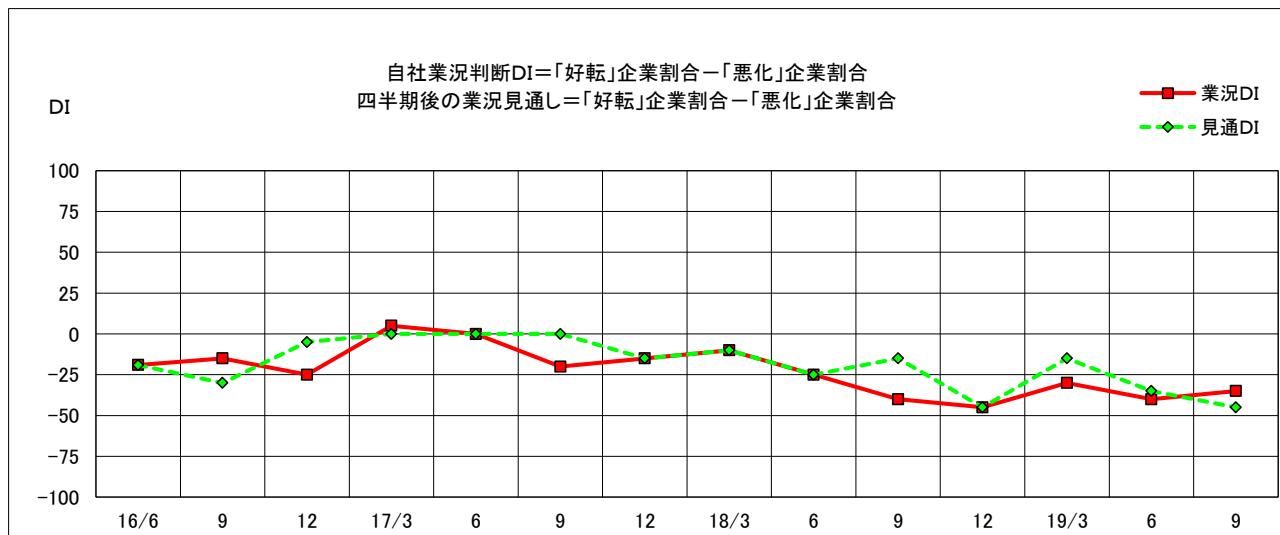
一方「悪化」とする企業は、45.0%と前回と同じとなった。

DI値は、5.0ポイント改善して▲35.0となった。

四半期後の業況見通しが「好転」とする企業は、10.0%と前回と同じとなった。

一方「悪化」とする企業は、55.0%と前回の45.0%から10.0ポイントの増加となった。

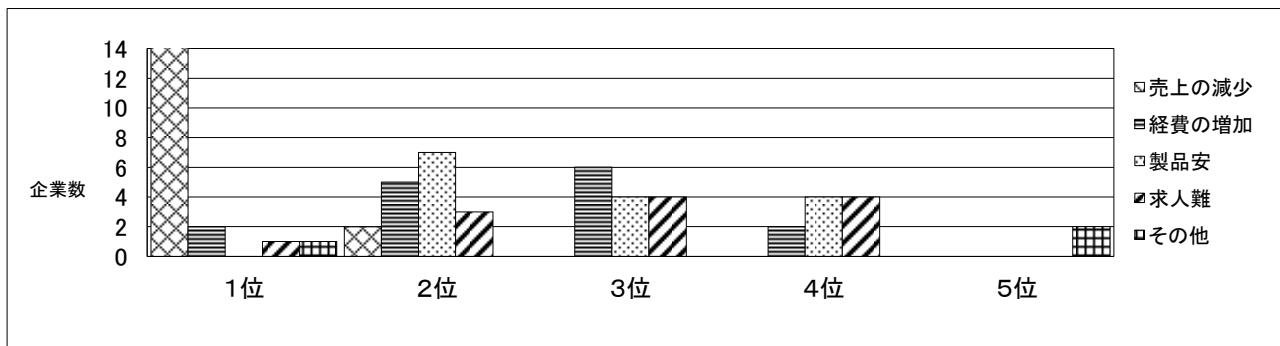
DI値は、10.0ポイント悪化して▲45.0となった。



年月	16/6	9	12	17/3	6	9	12	18/3	6	9	12	19/3	6	9
業況DI	▲ 19.0	▲ 15.0	▲ 25.0	5.0	0.0	▲ 20.0	▲ 15.0	▲ 10.0	▲ 25.0	▲ 40.0	▲ 45.0	▲ 30.0	▲ 40.0	▲ 35.0
見通DI	▲ 19.1	▲ 30.0	▲ 5.0	0.0	0.0	0.0	▲ 15.0	▲ 10.0	▲ 25.0	▲ 15.0	▲ 45.0	▲ 15.0	▲ 35.0	▲ 45.0

## 8 経営上の問題点

経営上の問題点としては1位「売上の減少」、2位「製品安」となっている。



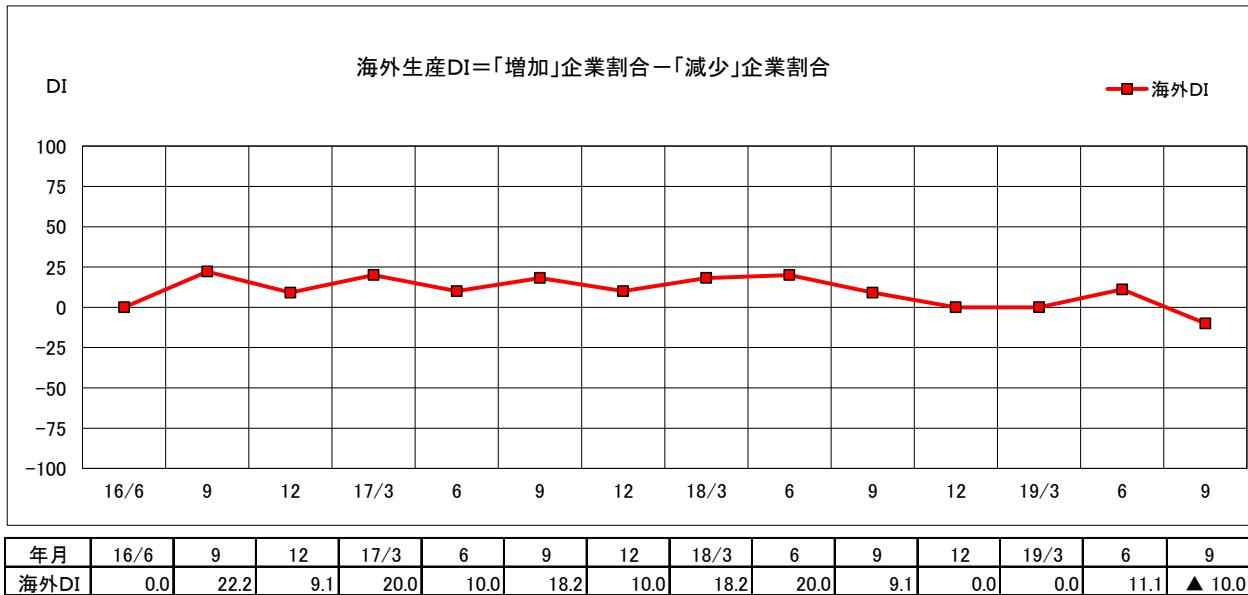
	1位	2位	3位	4位	5位
売上の減少	15	2	0	0	0
経費の増加	2	5	6	2	0
製品安	0	7	4	4	0
求人難	1	3	4	4	0
その他	1	0	0	0	2

## 9 海外生産の割合

今期、海外生産が「増加した」とする企業は、0.0%と前回の 11.1%から 11.1ポイントの減少となった。

一方「減少した」とする企業は、10.0%と前回の 0.0%から 10.0ポイントの増加となった。

DI値は、21.1ポイント減少して▲10.0となった。



### 回答企業のコメント

- 増税前の駆け込みが多少見られたが、増税後の消費の冷え込みや、キャッシュレス化等の負担増に先行き不安が多い。
- ネット販売との競合により大手専門店が閉店し、シーズン発注が減少。今後、自社の商品開発力強化、生産計画の見直し、在庫の適正化に努める。

(婦人子供服)

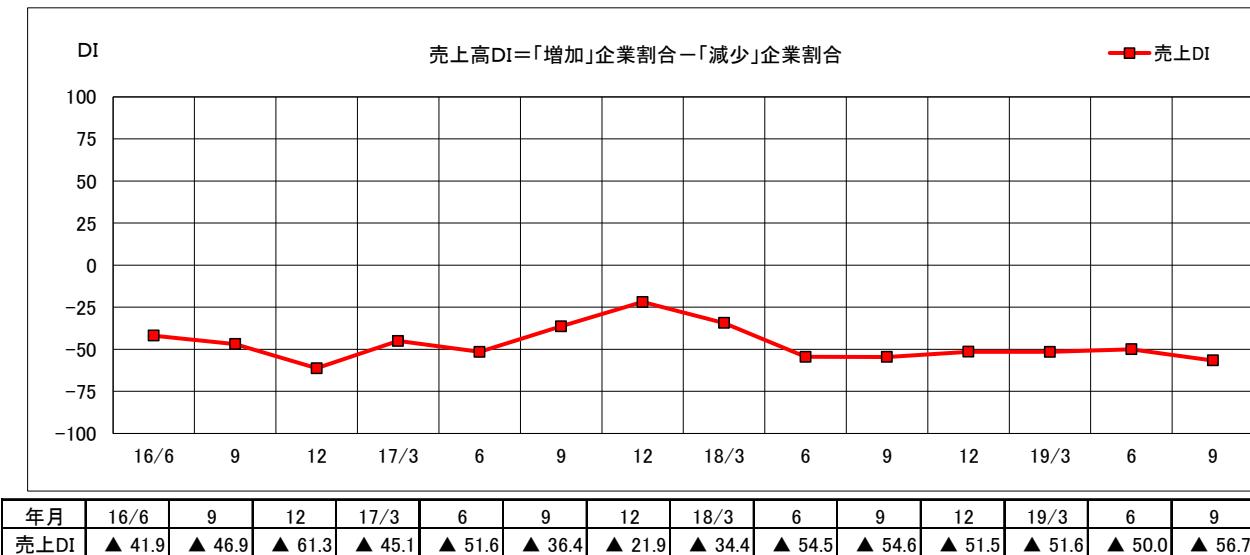
(婦人子供服)

## 1 売上高の動向

今期、売上高が「増加した」とする企業は、3.3%と前回の 6.7%から 3.4ポイントの減少となった。

一方「減少した」とする企業は、60.0%と前回の 56.7%から 3.3ポイントの増加となった。

DI値は、6.7ポイント悪化して▲56.7となった。

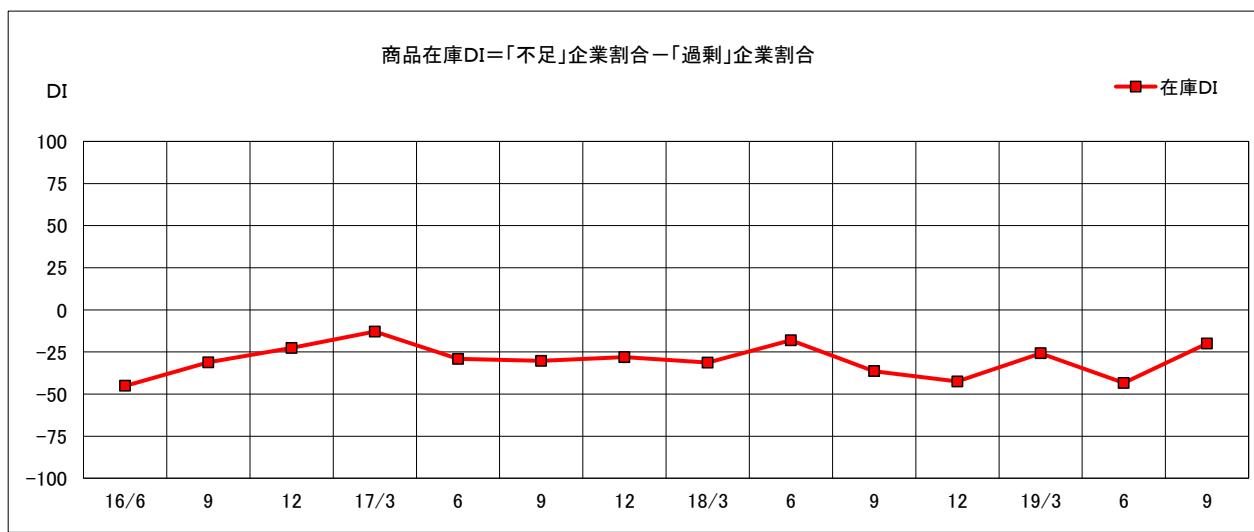


## 2 在庫の状況

今期、在庫が「不足」とする企業は、6.7%と前回の 3.3%から 3.4ポイントの増加となった。

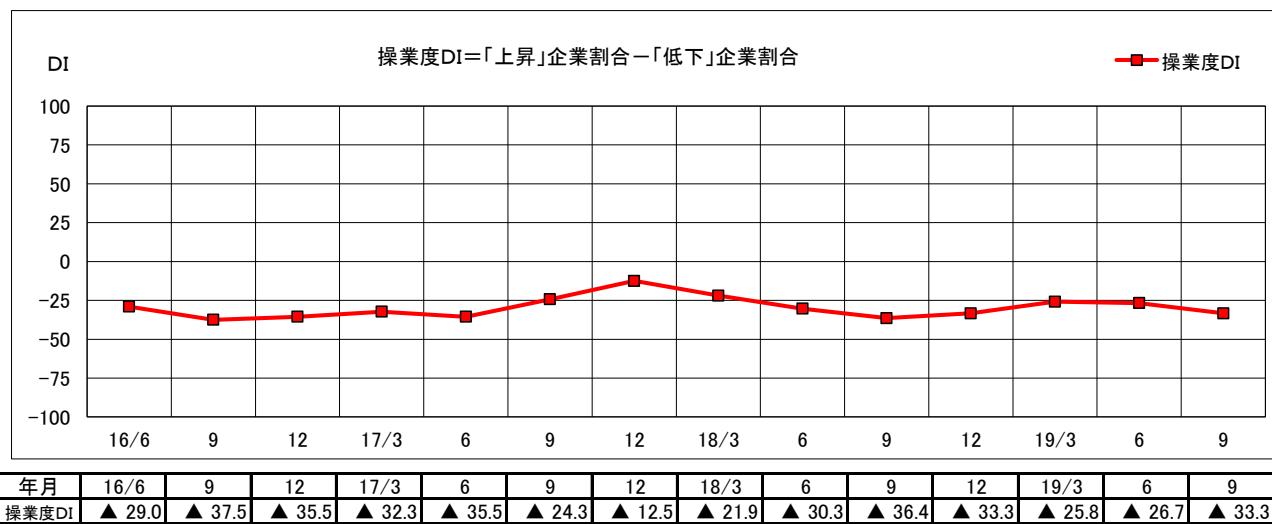
一方「過剰」とする企業は、26.7%と前回の 46.7%から 20.0ポイントの減少となった。

DI値は、23.4ポイント改善して▲20.0となった。



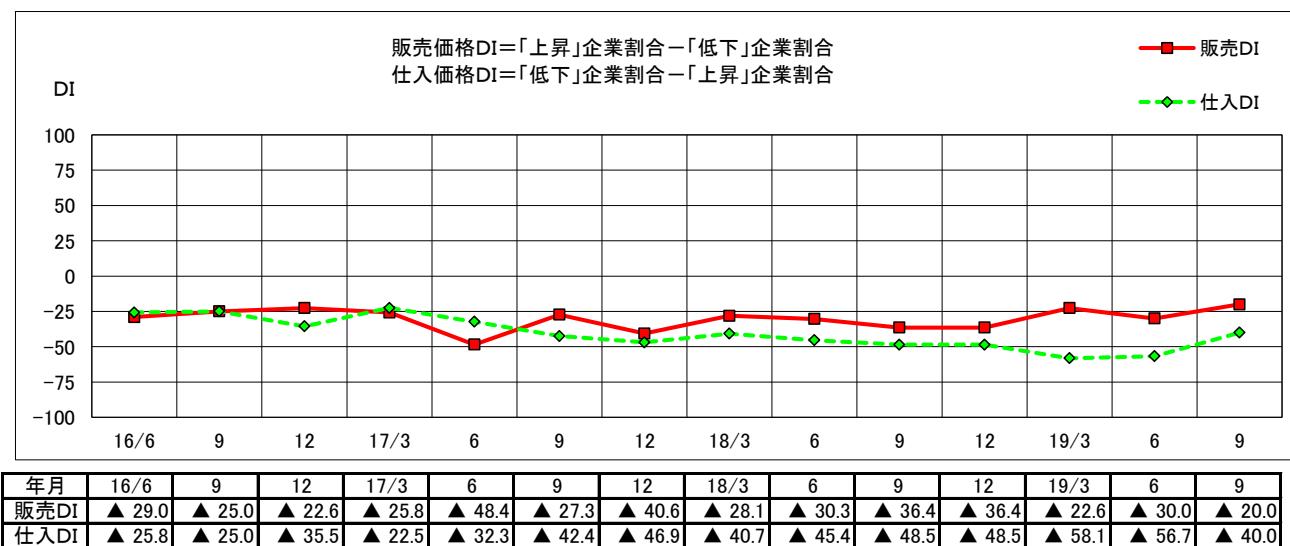
### 3 操業度の動向

今期、操業度が「上昇した」とする企業は、0.0%と前回と同じとなった。  
 一方「低下した」とする企業は、33.3%と前回の 26.7%から 6.6ポイントの増加となった。  
 DI値は、6.6ポイント悪化して▲33.3となった。



### 4 販売価格・仕入れ価格の推移

今期、販売価格が「上昇した」とする企業は、0.0%と前回と同じとなった。  
 一方「低下した」とする企業は、20.0%と前回の 30.0%から 10.0ポイントの減少となった。  
 DI値は、10.0ポイント改善して▲20.0となった。  
 今期、仕入価格が「低下した」とする企業は、6.7%と前回の 0.0%から 6.7ポイントの増加となった。  
 一方「上昇した」とする企業は、46.7%と前回の 56.7%から 10.0ポイントの減少となった。  
 DI値は、16.7ポイント改善して▲40.0となった。



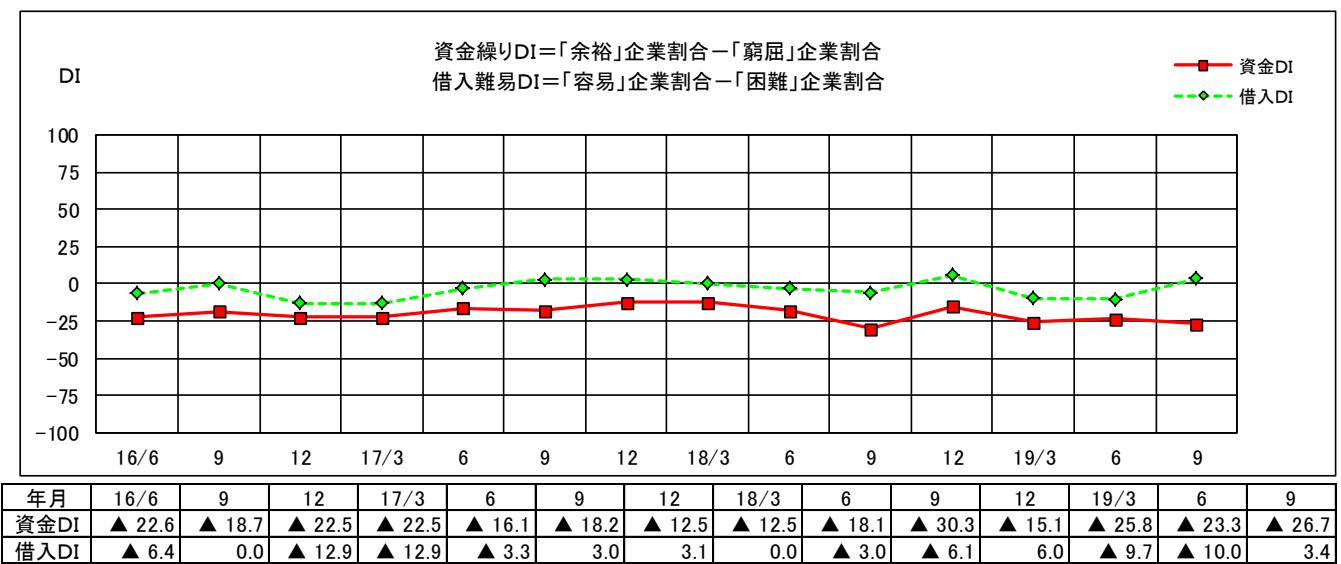
## 5 利益率の動向

今期、利益率が「増加した」とする企業は、0.0%と前回の 3.3%から 3.3ポイントの減少となった。  
 一方「減少した」とする企業は、50.0%と前回の 46.7%から 3.3ポイントの増加となった。  
 DI値は、6.6ポイント悪化して▲50.0となった。



## 6 財務の状況

今期、資金繰りが「余裕」とする企業は、3.3%と前回の 6.7%から 3.4ポイントの減少となった。  
 一方、「窮屈」とする企業は、30.0%と前回と同じとなった。  
 DI値は、3.4ポイント悪化して▲26.7となった。  
 今期、借入難易が「容易」とする企業は、16.7%と前回の 10.0%から 6.7ポイントの増加となった。  
 一方「困難」とする企業は、13.3%と前回の 20.0%から 6.7ポイントの減少となった。  
 DI値は、13.4ポイント改善して3.4となった。



## 7 業況総合判断

今期、業況判断が「好転」とする企業は、0.0%と前回の3.3%から3.3ポイントの減少となった。

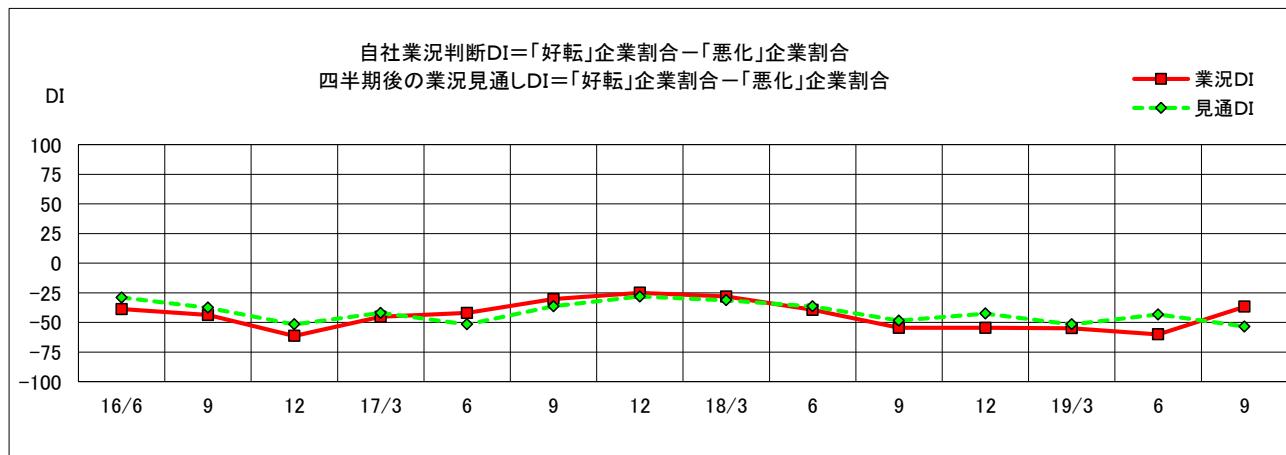
一方「悪化」とする企業は、36.7%と前回の63.3%から26.6ポイントの減少となった。

DI値は、23.3ポイント改善して▲36.7となった。

四半期後の業況見通しが「好転」とする企業は、3.3%と前回の6.7%から3.4ポイントの減少となった。

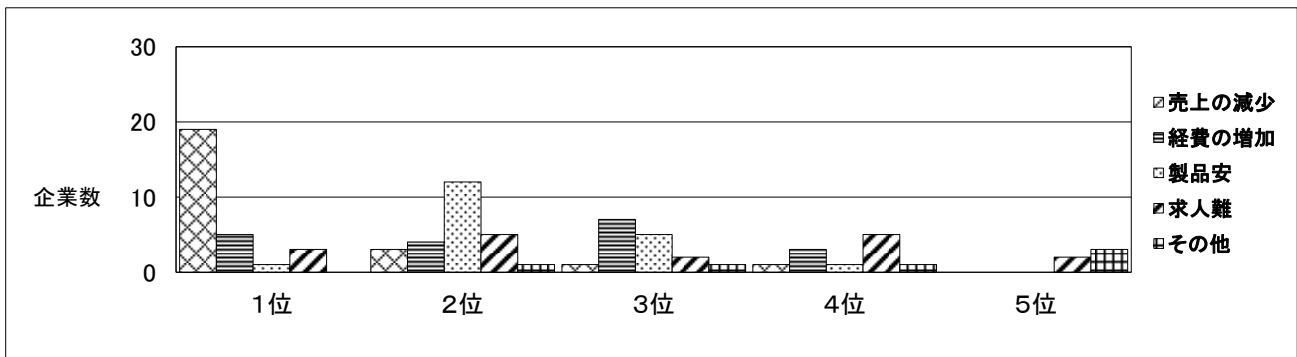
一方「悪化」とする企業は、56.7%と前回の50.0%から6.7ポイントの増加となった。

DI値は、10.1ポイント悪化して▲53.4となった。



## 8 経営上の問題点

経営上の問題点としては、1位「売上の減少」、2位「製品安」となっている。



	1位	2位	3位	4位	5位
売上の減少	19	3	1	1	0
経費の増加	5	4	7	3	0
製品安	1	12	5	1	0
求人難	3	5	2	5	2
その他	0	1	1	1	3

## 9 海外生産の割合

今期、海外生産が「増加した」とする企業は、0.0%と前回と同じとなった。

一方「減少した」とする企業は、23.1%と前回の 10.0%から 13.1ポイントの増加となった。

DI値は、13.1ポイント減少して▲23.1となった。



### 回答企業のコメント

- 中国での生産コスト・リスクの上昇、国内運賃の上昇等、利益を圧迫する要因が増えている。販売価格に反映することは難しいため、経費節減の努力が必要。
- 八月に入り夏物衣料が本格的に売れ出したが、盆休みで再び停滞気味になってしまった。

(ニット雑貨)

(ニット雑貨)

## 1 売上高の動向

今期、売上高が「増加した」とする企業は、0.0%と前回と同じとなった。

一方「減少した」とする企業は、100.0%と前回の 75.0%から 25.0ポイントの増加となった。

DI値は、25.0ポイント悪化して▲100.0となった。

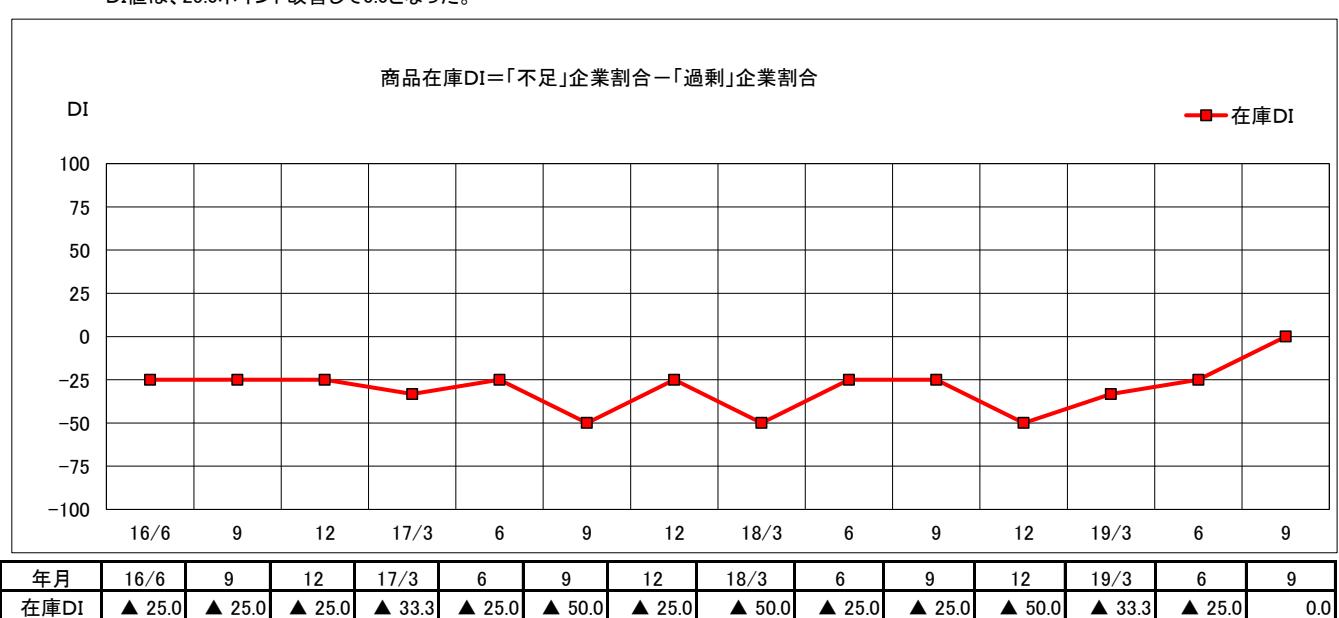


## 2 在庫の状況

今期、在庫が「不足」とする企業は、0.0%と前回と同じとなった。

一方「過剰」とする企業は、0.0%と前回の 25.0%から 25.0ポイントの減少となった。

DI値は、25.0ポイント改善して0.0となった。



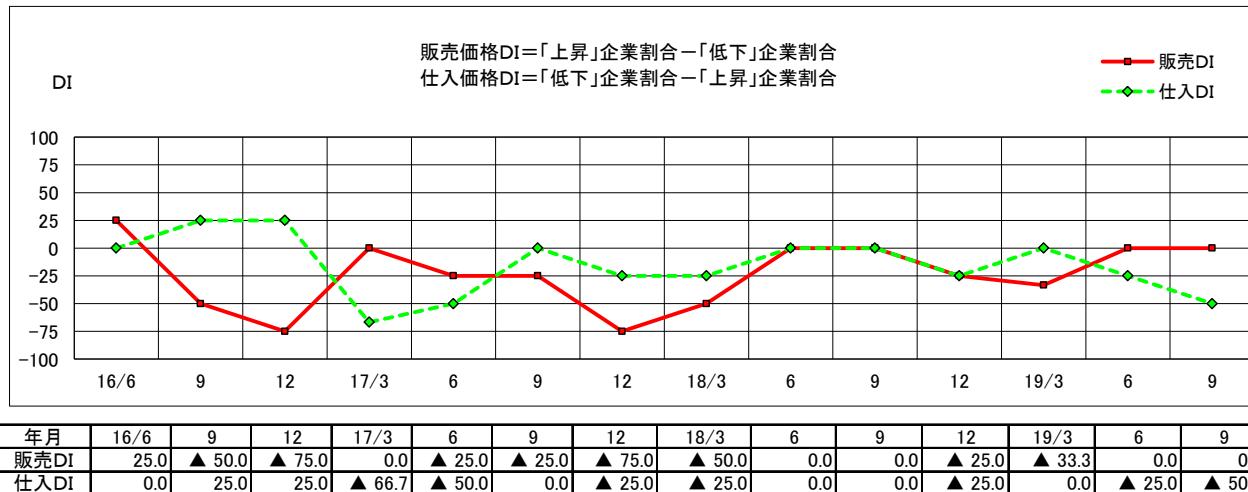
### 3 操業度の動向

今期、操業度が「上昇した」とする企業は、0.0%と前回と同じとなった。  
 一方「低下した」とする企業は、25.0%と前回の 75.0%から 50.0ポイントの減少となった。  
 DI値は、50.0ポイント改善して▲25.0となった。



### 4 販売価格・仕入れ価格の推移

今期、販売価格が「上昇した」とする企業は、25.0%と前回の 0.0%から 25.0ポイントの増加となった。  
 一方「低下した」とする企業は、25.0%と前回の 0.0%から 25.0ポイントの増加となった。  
 DI値は、0.0ポイントと前回と同じとなった。  
 今期、仕入価格が「低下した」とする企業は、0.0%と前回と同じとなった。  
 一方「上昇した」とする企業は、50.0%と前回の 25.0%から 25.0ポイントの増加となった。  
 DI値は、25.0ポイント悪化して▲50.0となった。



## 5 利益率の動向

今期、利益率が「増加した」とする企業は、0.0%と前回と同じとなった。

一方「減少した」とする企業は、50.0%と前回と同じとなった。

DI値は、▲50.0ポイントと前回と同じとなった。



## 6 財務の状況

今期、資金繰りが「余裕」とする企業は、25.0%と前回と同じとなった。

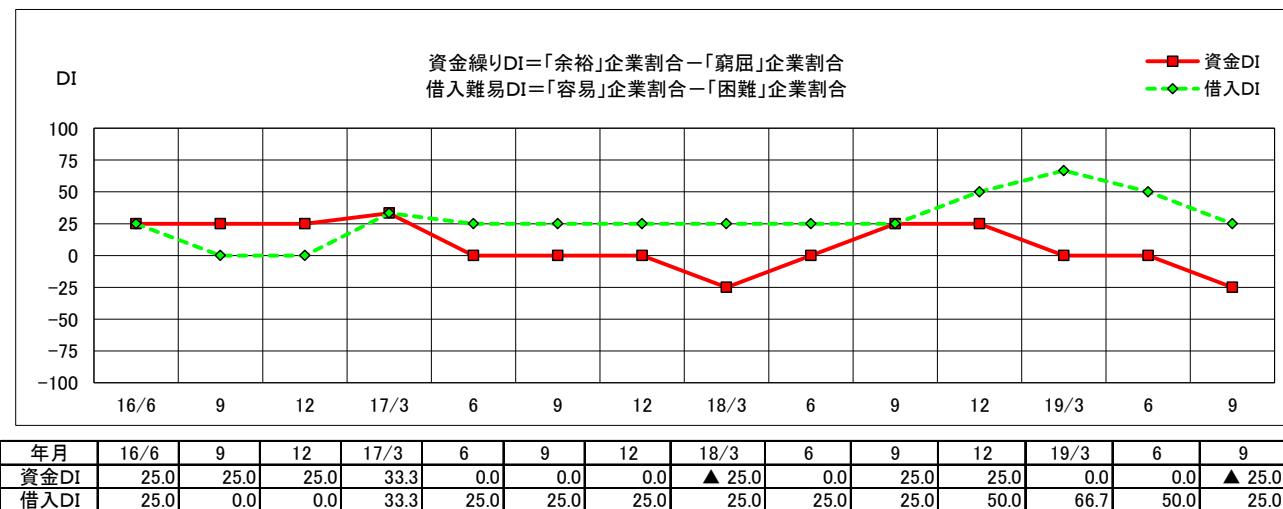
一方「窮屈」とする企業は、50.0%と前回の 25.0%から 25.0ポイントの増加となった。

DI値は、25.0ポイント悪化して▲25.0となった。

今期、借入難易が「容易」とする企業は、25.0%と前回の 50.0%から 25.0ポイントの減少となった。

一方、「困難」とする企業は、0.0%と前回と同じとなった。

DI値は、25.0ポイント悪化して25.0となった。



## 7 業況総合判断

今期、業況判断が「好転」とする企業は、0.0%と前回と同じとなった。

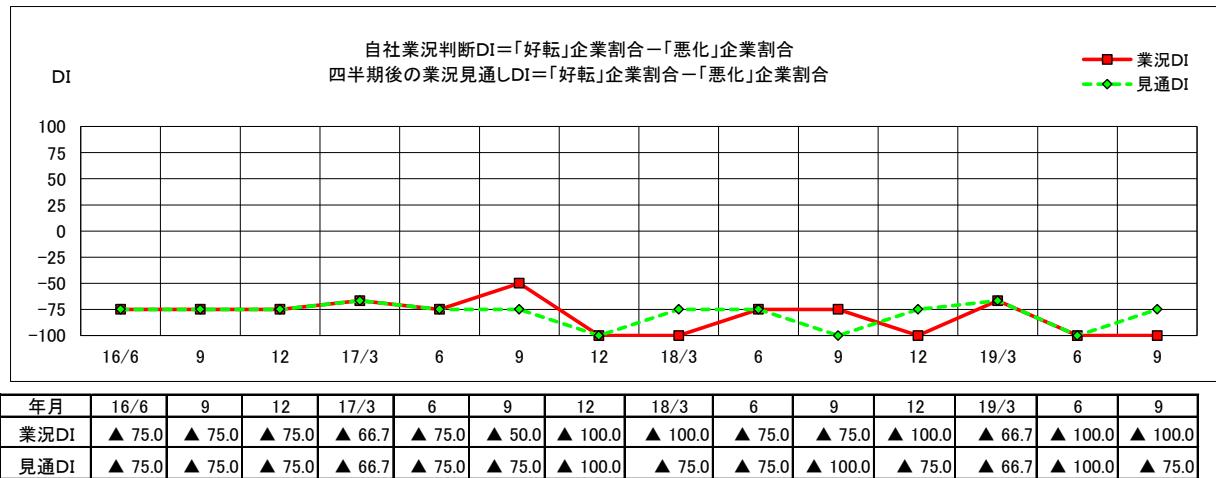
一方「悪化」とする企業は、100.0%と前回と同じとなった。

DI値は、▲100.0と前回と同じとなった。

四半期後の業況見通しが「好転」とする企業は、0.0%と前回と同じとなった。

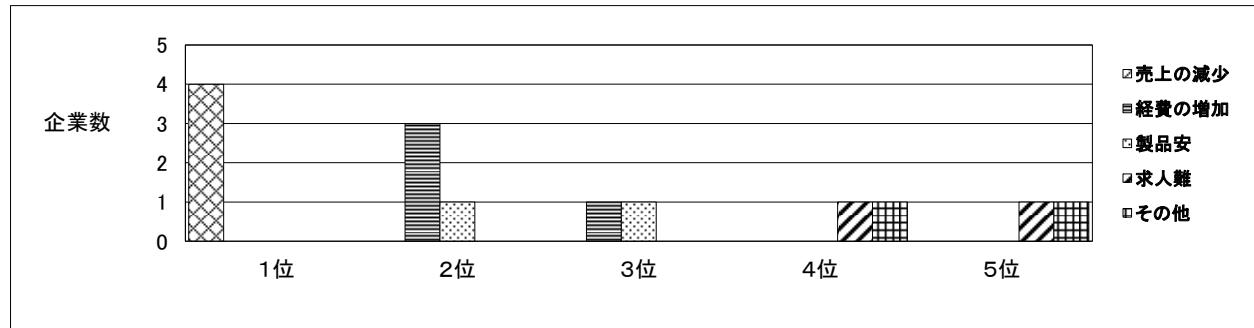
一方「悪化」とする企業は、75.0%と前回の 100.0%から 25.0ポイントの減少となった。

DI値は、25.0ポイント改善して▲75.0となった。



## 8 経営上の問題点

経営上の問題点としては、1位「売上の減少」、2位「経費の増加」となっている。



	1位	2位	3位	4位	5位
売上の減少	4	0	0	0	0
経費の増加	0	3	1	0	0
製品安	0	1	1	0	0
求人難	0	0	0	1	1
その他	0	0	0	1	1

## 回答企業のコメント

- 増税前の駆け込み仕入がなかった。
- 猛暑のため客足が悪く、夏物の売れ行きが良くない。

## 第2部 縫製産業

### 1. 調査要領

- (1) 調査時期 令和元年10月
- (2) 調査依頼企業数 15社
- (3) 調査対象期間 令和元年7月～令和元年9月
- (4) 回答状況 有効回答数 14社  
有効回答率 93.3%

#### (5) 調査事項

- ア 加工賃
- イ 受注
- ウ 操業度
- エ 利益率
- オ 資金繰り・借入難度
- カ 設備投資
- キ 従業員充足率
- ク 業況判断・四半期後の業況見通し
- ケ 経営上の問題点
  - (ア) 加工賃の減少
  - (イ) 原材料費の増加
  - (ウ) 受注減
  - (エ) 求人難
  - (オ) その他

### 2. 縫製産業景気動向調査結果の概況

縫製産業は、「受注」DI、「利益率」DI、「業況判断」DI等の項目で改善を示したが、「四半期後の業況見通し」DIの項目で悪化を示した。

今期の調査結果の特徴は、DIの前回比較で、「受注」DIで28.6ポイント、「利益率」DI、「業況判断」DIでそれぞれ21.4ポイント改善し、「四半期後の業況見通し」DIで0.1ポイント悪化したことである。

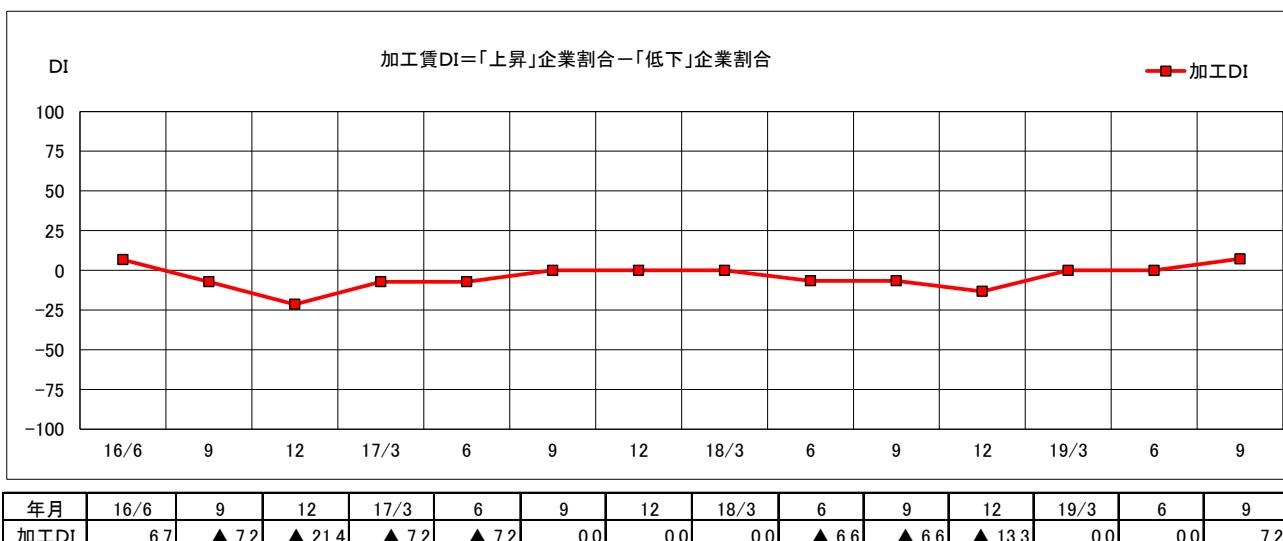
経営上の問題点としては、1位「求人難」2位「受注減」の順となった。

回答企業のコメントとしては、「人件費の増加により、製造原価が上昇し、利益率が減少した」、「増税前の駆け込み需要もなく、例年通りの受注、操業度となった」等の意見が聞かれた。

### 3. 縫製産業景気動向調査結果

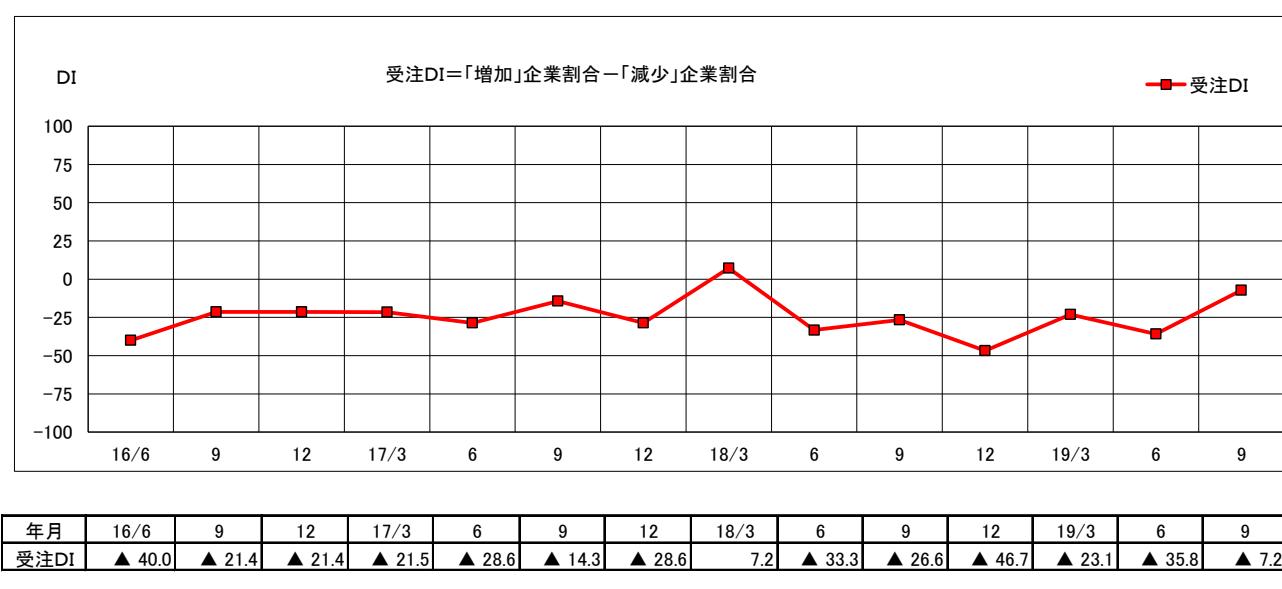
#### 1 加工賃の動向

今期、加工賃が「上昇した」とする企業は、14.3%と前回と同じとなった。  
 一方「低下した」とする企業は、7.1%と前回の 14.3%から 7.2ポイントの減少となった。  
 DI値は、7.2ポイント改善して7.2となった。



#### 2 受注状況の動向

今期、受注が「増加」とする企業は、21.4%と前回の 7.1%から 14.3ポイントの増加となった。  
 一方「減少」とする企業は、28.6%と前回の 42.9%から 14.3ポイントの減少となった。  
 DI値は、28.6ポイント改善して▲7.2となった。



### 3 操業度の動向

今期、操業度が「上昇した」とする企業は、7.1%と前回の 14.3%から 7.2ポイントの減少となった。

一方「低下した」とする企業は、14.3%と前回の 35.7%から 21.4ポイントの減少となった。

DI値は、14.2ポイント改善して▲7.2となった。



### 4 利益率の動向

今期、利益率が「増加した」とする企業は、0.0%と前回と同じとなった。

一方「減少した」とする企業は、42.9%と前回の 64.3%から 21.4ポイントの減少となった。

DI値は、21.4ポイント改善して▲42.9となった。



## 5 財務の状況

今期、資金繰りが「余裕」とする企業は、0.0%と前回と同じとなった。

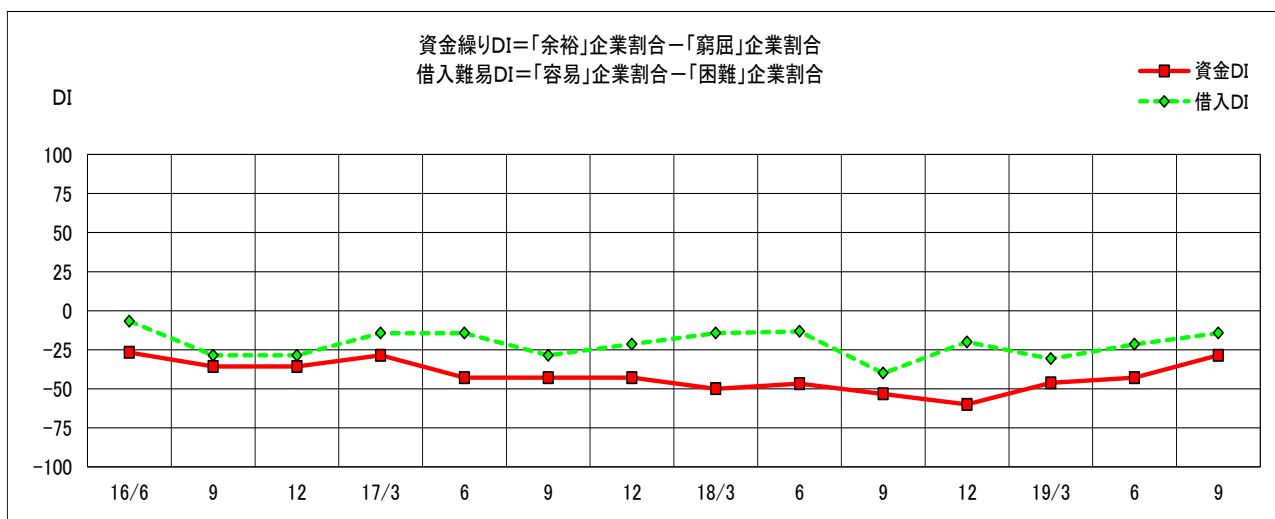
一方「窮屈」とする企業は、28.6%と前回の 42.9%から 14.3ポイントの減少となった。

DI値は、14.3ポイント改善して▲28.6となった。

今期、借入難易が「容易」とする企業は、7.1%と前回と同じとなった。

一方「困難」とする企業は、21.4%と前回の 28.6%から 7.2ポイントの減少となった。

DI値は、7.2ポイント改善して▲14.3となった。

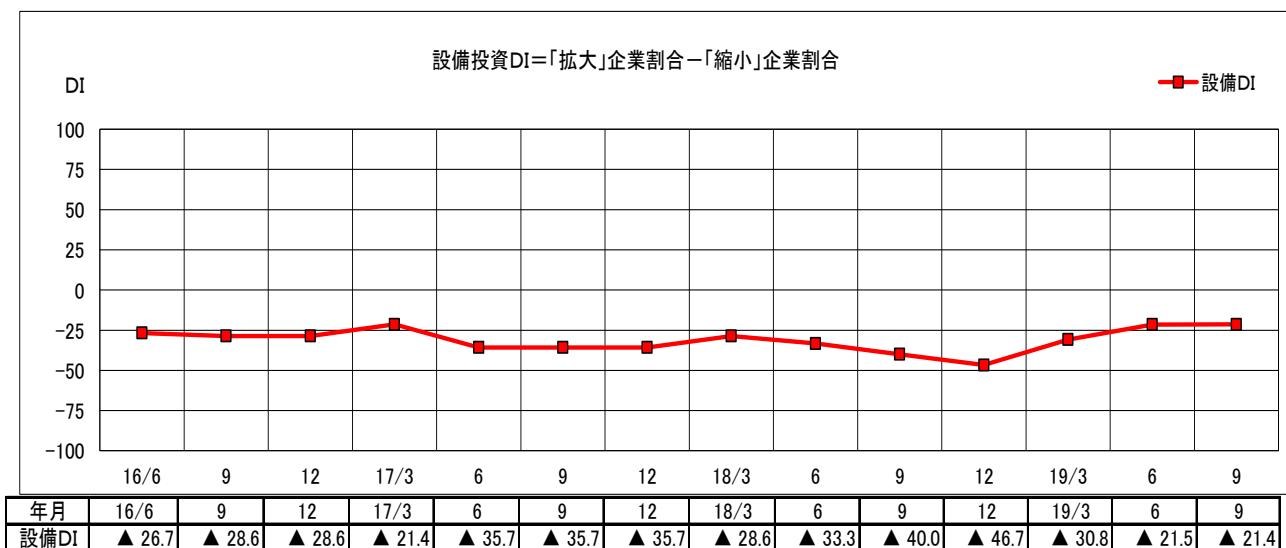


## 6 設備投資の状況

今期、設備投資が「拡大」とする企業は、0.0%と前回の 7.1%から 7.1ポイントの減少となった。

一方「縮小」とする企業は、21.4%と前回の 28.6%から 7.2ポイントの減少となった。

DI値は、0.1ポイント改善して▲21.4となった。



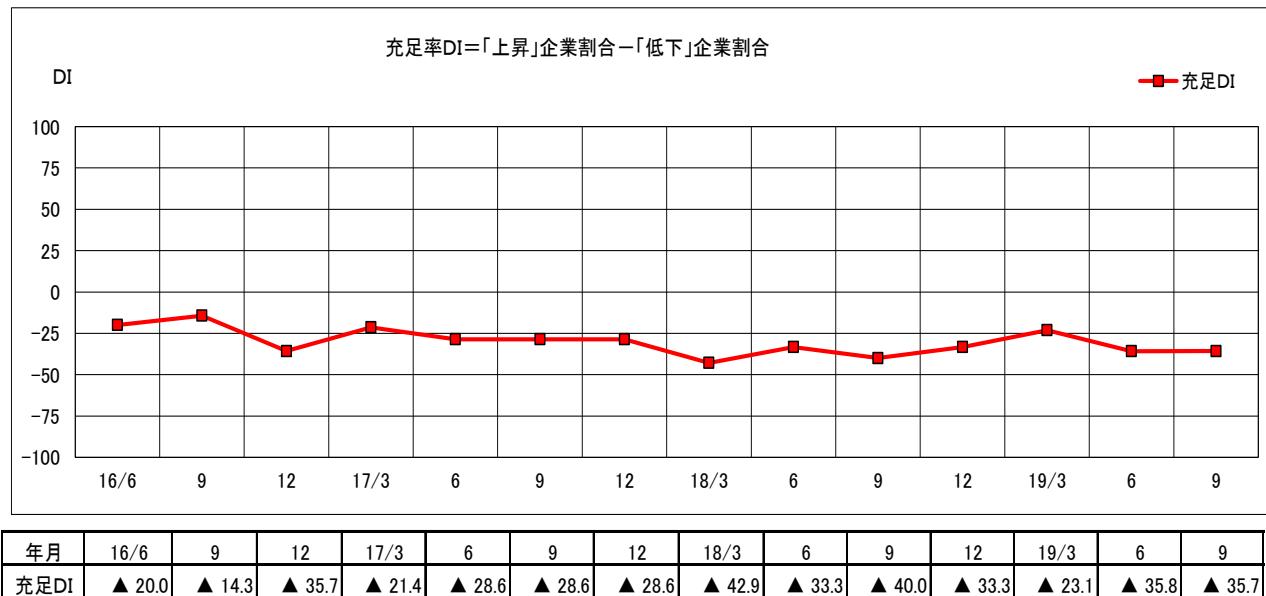
(縫製)

## 7 従業員の動向

従業員充足率が「上昇した」とする企業は、0.0%と前回の 7.1%から 7.1ポイントの減少となった。

一方「低下した」とする企業は、35.7%と前回の 42.9%から 7.2ポイントの減少となった。

DI値は、0.1ポイント改善して▲35.7となった。



## 8 業況総合判断

今期、業況判断が「好転」とする企業は、7.1%と前回の 14.3%から 7.2ポイントの減少となった。

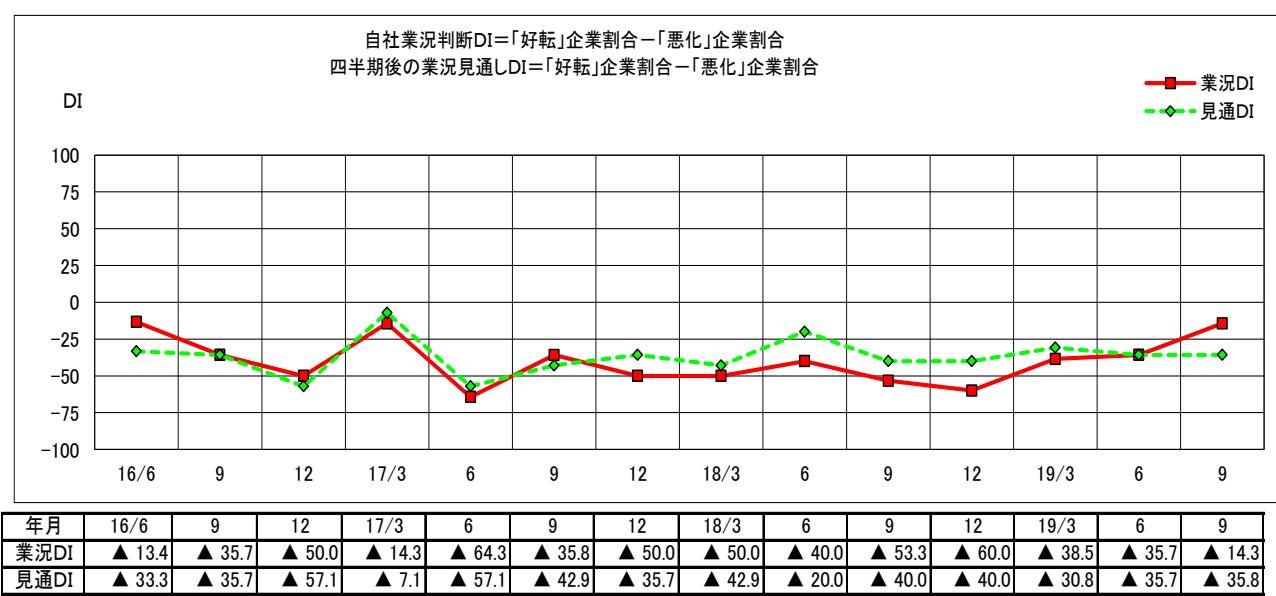
一方「悪化」とする企業は、21.4%と前回の 50.0%から 28.6ポイントの減少となった。

DI値は、21.4ポイント改善して▲14.3となった。

四半期後の業況見通しが「好転」とする企業は、7.1%と前回の14.3%から7.2ポイントの減少となった。

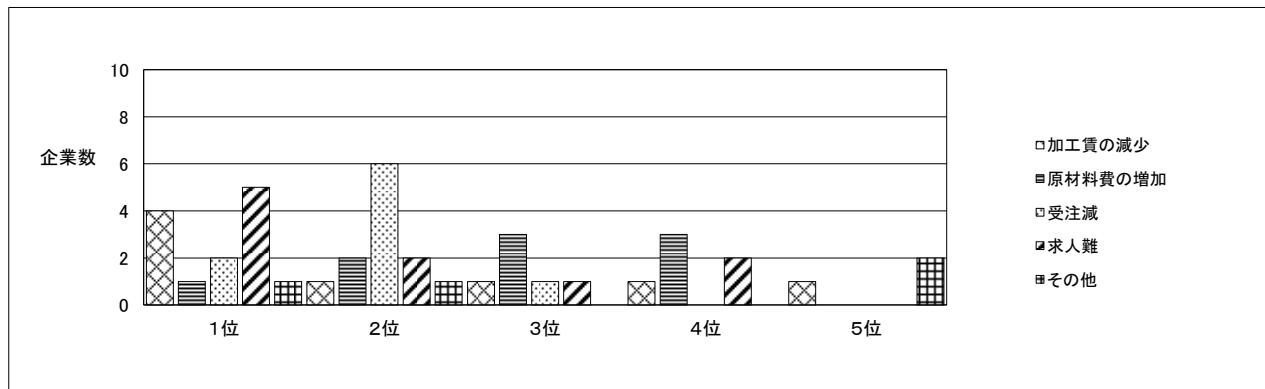
一方「悪化」とする企業は、42.9%と前回の 50.0%から 7.1ポイントの減少となった。

DI値は、0.1ポイント悪化して▲35.8%となった。



## 9 経営上の問題点

経営上の問題点としては、1位「求人難」、2位「受注減」となっている。



	1位	2位	3位	4位	5位
加工賃の減少	4	1	1	1	1
原材料費の増加	1	2	3	3	0
受注減	2	6	1	0	0
求人難	5	2	1	2	0
その他	1	1	0	0	2

### 回答企業のコメント

- 増税前の駆け込み需要もなく、例年通りの受注、操業度となった。四半期後の受注の見通しは例年よりも高く、加工賃も上昇傾向にある。
- 最低賃金値上げに伴う人件費の増加により、製造原価が上昇し利益率が減少している。
- 海外生産の支払加工賃上昇により、利益率が減少している。

## 岐阜アパレルの動向

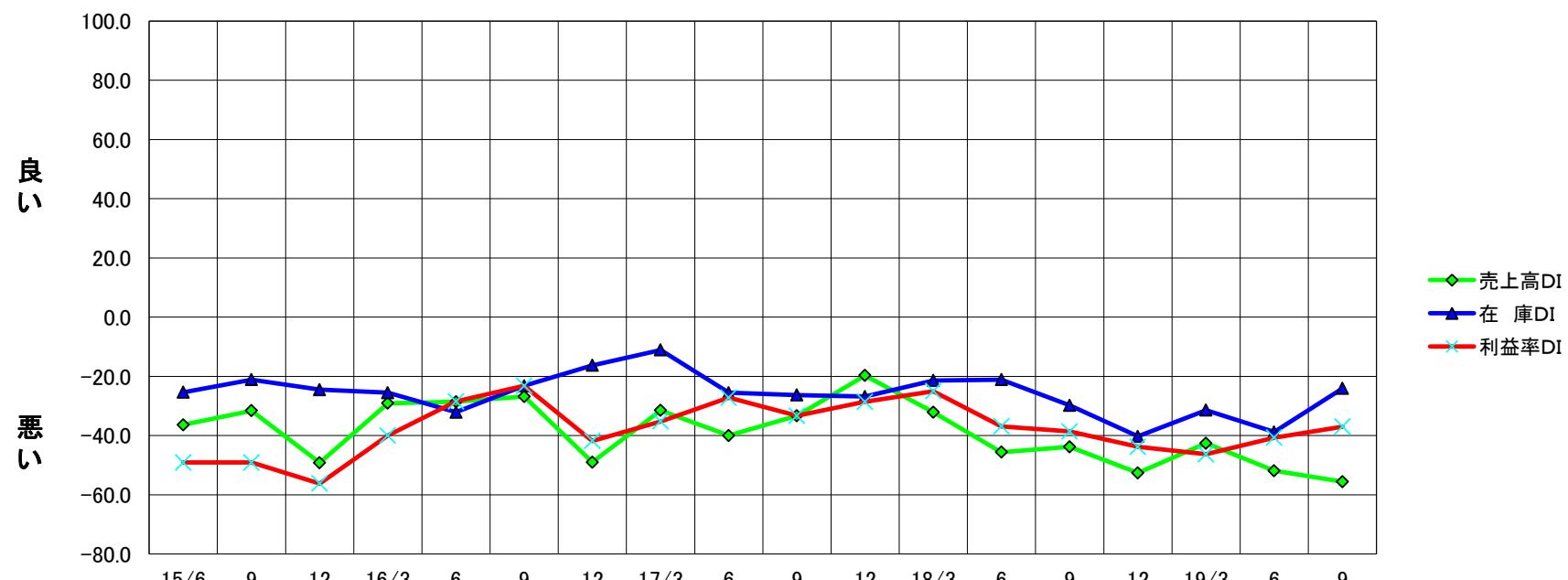
- |         |      |             |        |             |
|---------|------|-------------|--------|-------------|
| ○ 売上高DI | 前期比で | - 3.7 ポイント  | 前年同期比で | - 11.8 ポイント |
| ○ 在庫DI  | 前期比で | + 14.7 ポイント | 前年同期比で | + 5.7 ポイント  |
| ○ 利益率DI | 前期比で | + 3.7 ポイント  | 前年同期比で | + 1.6 ポイント  |

岐阜アパレル業の売上高・在庫・利益率の動向

※調査対象企業数59社

年・月	15/6	9	12	16/3	6	9	12	17/3	6	9	12	18/3	6	9	12	19/3	6	9
売上高DI	-36.4	-31.6	-49.2	-29.1	-28.6	-26.8	-49.0	-31.5	-40.0	-33.3	-19.7	-32.1	-45.6	-43.8	-52.6	-42.6	-51.9	-55.6
在庫DI	-25.4	-21.1	-24.5	-25.5	-32.1	-23.2	-16.3	-11.1	-25.5	-26.3	-26.8	-21.4	-21.1	-29.8	-40.3	-31.4	-38.8	-24.1
利益率DI	-49.1	-49.1	-56.2	-40.0	-28.5	-23.2	-41.8	-35.2	-27.2	-33.3	-28.6	-25.0	-36.9	-38.6	-43.8	-46.3	-40.7	-37.0

岐阜アパレル業の売上高・在庫・利益率の動向



## 岐阜縫製業の動向

- |         |      |             |        |             |
|---------|------|-------------|--------|-------------|
| ○ 加工賃DI | 前期比で | + 7.2 ポイント  | 前年同期比で | + 13.8 ポイント |
| ○ 受注DI  | 前期比で | + 28.6 ポイント | 前年同期比で | + 19.4 ポイント |
| ○ 利益率DI | 前期比で | + 21.4 ポイント | 前年同期比で | + 3.7 ポイント  |

岐阜縫製業の加工賃・受注・利益率の動向

※調査対象縫製企業数15社

年・月	15/6	9	12	16/3	6	9	12	17/3	6	9	12	18/3	6	9	12	19/3	6	9
加工賃DI	15.4	13.3	20.0	7.1	6.7	-7.2	-21.4	-7.2	-7.2	0.0	0.0	0.0	-6.6	-6.6	-13.3	0.0	0.0	7.2
受注DI	23.1	20.0	20.0	21.5	-40.0	-21.4	-21.4	-21.5	-28.6	-14.3	-28.6	7.2	-33.3	-26.6	-46.7	-23.1	-35.8	-7.2
利益率DI	-38.5	-40.0	-20.0	-28.6	-33.3	-42.8	-50.0	-28.6	-71.4	-57.2	-57.2	-57.1	-40.0	-46.6	-60.0	-30.8	-64.3	-42.9

岐阜縫製業の加工賃・受注・利益率の動向

